



Language Education Tertiary School (レッツ)

小学校英語指導者 (J-Shine) 資格取得プログラム Q&A

Q : TECSOLとはなんですか？

Teaching English to Child Speakers of Other Languages の略です。子供達に英語を教えるための資格で、日本だけではなく世界中で子供に教えられるスキルを身につけるためのプログラムです。たとえばレッツのTECSOLコースではCareer Planning というレッスンがあり日本だけではなく海外での児童英語教師事情なども勉強します。

Q : J-Shine 資格取得プログラムでは日本人に教えるためのプログラムですか？

レッツでは受講できるコースの言語を選択できるようになっています。主に日本語で教わる日本語版と主に英語で教わる英語版です。将来日本で日本人の子供相手に教えることをもう決めている方には日本語版での受講をお勧めいたしますし、逆にアジア圏で英語を教えてみたい方や日本でもインターナショナルスクールなどで日本人以外の子供も相手に教えたいと思っている方には英語版をお勧めしています。

Q : すでにTECSOLを終了していればJ-Shineの科目だけとればJ-Shineの資格は取れますか？

TECSOLをどの学校で受講したかによります。J-Shineの認定校で受講した場合は 単位交換提携をしている場合もありますので、ご相談ください。

Q : 50時間実習しなくてもJ-Shineの正資格が取れると聞いたのですが

A : いいえ 50時間の実習がないとJ-Shineの正資格は取れません。これは2004年から決まっている事項です。J-Shineには各認定団体シラバス(カリキュラムの内容を綴ったもの)の提出が必要となります。レッツでは2005年11月の段階で全員が正資格を取得できるようにプログラムの中で50時間の実習ができるようにシラバスを変更しJ-Shineに正式に認可を受けております。ですのでレッツのプログラムを終了すると全員が正資格が取得できます。

Q : レッツの児童英語の先生方はどんな先生ですか？

A : レッツは開校当時から児童英語コースをもっていますし、英語学校がコースのひとつとして児童英語をおこなっている、といったような位置づけではありません。児童英語コースに対する取り組み方が違います。現在レッツオーストラリア校でTECSOLおよびJ-Shineコースを受け持っているのは全部で7人の先生。大学院で教育学を学んだ先生、日本で大手児童英語学校のカリキュラムを執筆していた先生、実際に日本の小学校で英語を教えていた先生、ALTとして派遣されていた先生など層は厚く、また担任制度ではありませんので、たくさんの先生から実際の体験談を聞くことができます。

Q : 最後にレッツの児童英語の一番の売りはなんですか？

A : 「就職」です。このコースを卒業すれば児童英語講師になりたい方は必ずなれます。それだけのサポート体制は万全に整っています！勉強して、卒業してそして終わり、ではなくレッツは生徒と生涯つきあっています！